

ボランティアの心

現在、小松島市では、七十団体約2,300人(平成二十二年六月現在、小松島市社会福祉協議会把握数。個人ボランティア、活動の一部でボランティア活動をしている団体含む)の市民が、ボランティアとして活動されています。さらに、毎年六月に実施されているリフレッシュ瀬戸内(約千人が参加)や八月のチャリティ阿波踊り、町内会や学校などでのボランティアを含めると、多くの市民がボランティア活動に参加していると言えるでしょう。



このようにボランティア活動に関心が高まる中、新しい活動始める団体や、特技・経験を活かしたボランティアグループが誕生しています。



地域福祉の分野では、十一小学校区ごとに、住民の有志や民生委員児童委員、婦人会員等で組織された地区社会福祉協議会が、従来の高齢者へのゆるやかな見守り等の福祉活動に加え、平成十七年より小学校児童の登下校時の見守り活動を開始し、犯罪の抑止力と

もに、児童との交流を深めています。また、絵本の読み聞かせの活動をするグループでは、乳幼児や保護者を対象とした「すきっぷ」や「キラキラ・キッズ」、高齢者施設で活動する「ハート・フル」、退職された女性校長で結成する「ウメノミーズ」等の他、保護者等が小学校で読み聞かせを行って



小松島市国際交流協会は、既存事業に加えて、外国人のための生活者として役立つ日本語や慣習を経験する事業を始めました。

徳島赤十字病院では、病院ボランティアが活躍し、訪れる人々に安心を与えています。

ボランティア活動を推進支援する小松島市社会福祉協議会は、創立五十周年を記念し、藤井克明会長が「本市は日本初の善意銀行発祥の地。この善意銀行の寄付文化の活性化と、今までいただいた寄付金を活用して市民の新しい感覚で社会福祉を見直し、地域福祉に挑戦する機運を高める事業を」と、創立五十周年記念事業として、地域福祉の振興、地域課題の解決に取り組んでいるボランティアグループや市民活動団体が提案する十二事業に助成を行いました。

福祉、教育、医療、国際交流：ボランティア活動は多様な分野や場所へ、多くの市民へと広がりをみせています。

みんなでまちを守る

自治会を基盤とした自主防災組織が次々と結成され、「自分たちのまちは自分で守る」を合言葉に、消火訓練をはじめ、炊き出し訓練や救命救急訓練など様々な防災活動を行っています。

Chapter V

Many citizens participate in the volunteer activities, some watching over the old people and children, others reading picture books for infants or teaching foreigners Japanese language and its customs. The volunteer groups were created one after another in the fields of welfare, education, medical service and international exchange, where participants apply and share their skills and experiences. This spread of volunteering promotes one of our values, 'people-focused' which means 'local development by/for the local people'.